

eastspring
investments

英国フルーデンシャル・グループ



イーストスプリング インド投資マンスリー

2021年11月号

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号

加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。

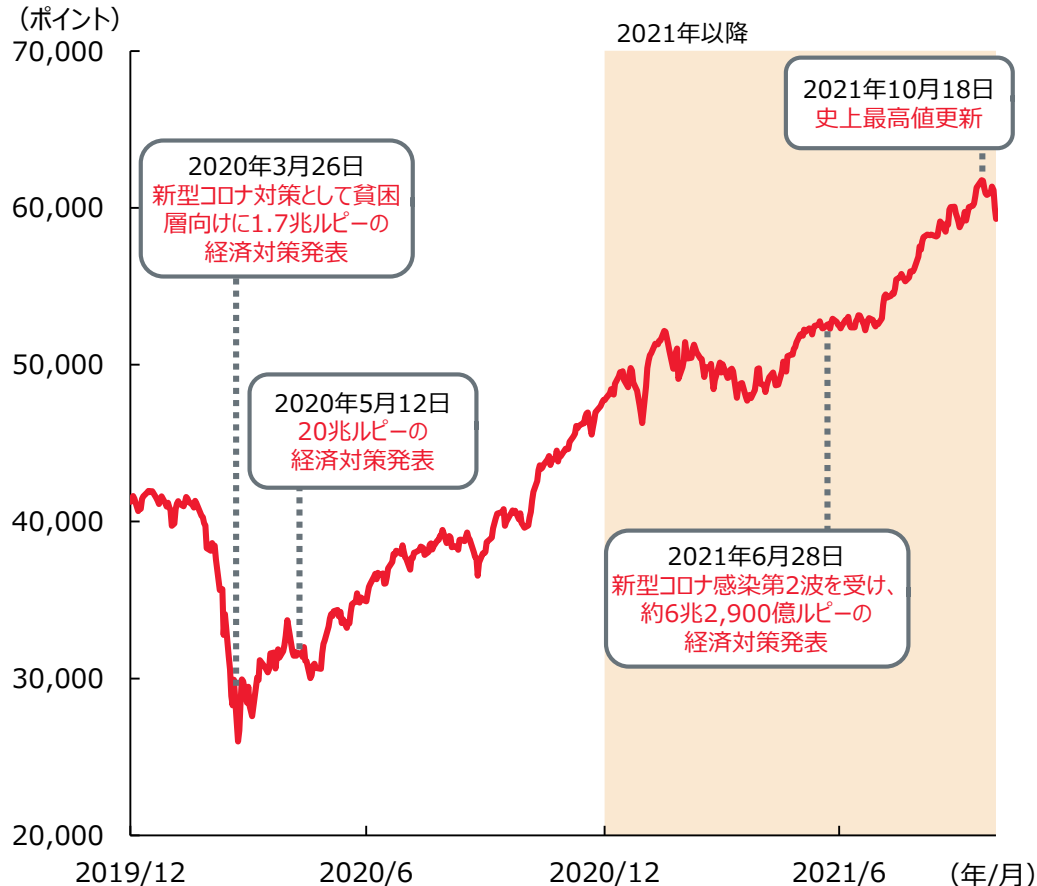
最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

インド投資マンスリー
動画配信中！



株式：好調な企業決算と金融緩和継続などを背景に高値圏で推移

SENSEX指数の推移 (日次、2019年12月末～2021年10月末)



2021年10月の振り返り

10月のSENSEX指数は、月中旬に史上最高値（終値ベース）を更新後、前月比横ばいの+0.3%で月を終えました。

主要企業が好調な7-9月期決算を発表したことによる良好なセンチメントに支えられ、景気回復期待が高まりました。8日に行われた金融政策決定会合で、インド準備銀行（中央銀行、RBI）はインフレ率の安定などを背景に金融政策の維持を決定、また、2021年度の実質GDP成長率予想を9.5%に据え置いたことで、市場センチメントは更に強まりました。

国内機関投資家および投資信託による株式市場への継続的な資金流入は株価の下支え要因となりました。一方で、外国人投資家の資金は流出となりました。

業種では、銀行、自動車、耐久消費財が好調となった一方、生活必需品、ヘルスケア、不動産セクターが軟調な結果となりました。

規模別指数の期間別騰落率 (2021年10月末時点)

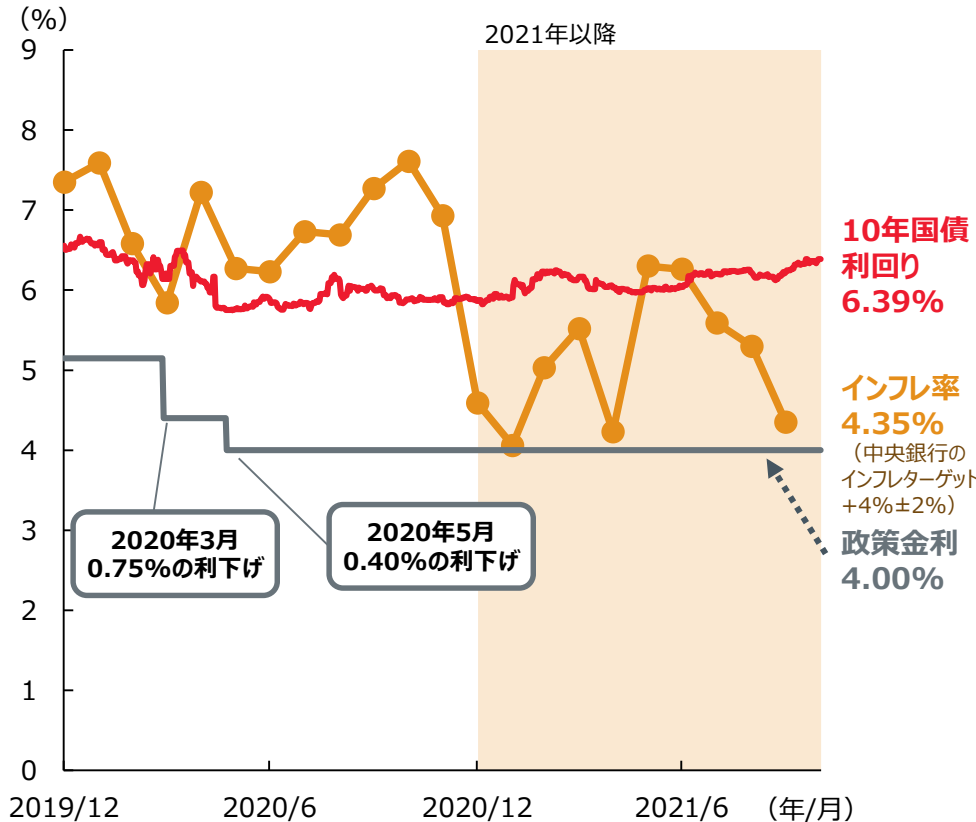
	1か月間	3か月間	6か月間
大型株 (SENSEX指数)	+0.3%	+12.8%	+21.6%
中型株 (BSE中型株指数)	+0.1%	+9.5%	+24.4%
小型株 (BSE小型株指数)	-0.4%	+4.5%	+29.1%

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※すべて配当無し（プライス）、インドルピーベース。

債券：原油価格の高騰などにより債券利回りは上昇

政策金利*、インフレ率**、10年国債利回りの推移

(日次、2019年12月末～2021年10月末)



2021年10月の振り返り

10月の10年国債利回りは+0.17%上昇（価格は下落）し、6.39%で月を終えました。需給のひっ迫による原油価格の高騰とインフレ進行懸念が米国債利回りを押し上げており、それにつれてインド国債利回りも上昇しました。

RBIは金融政策決定会合において、政策金利（4.0%）を据え置き、緩和的な金融政策スタンスの維持を決定しました。一方で、国債購入プログラムの今後の実施を見送るなど、金融政策正常化に向けたプロセスも開始しています。

過剰流動性の下で、インドの銀行間コールレートは政策金利である4.0%を下回ったままでした。過剰流動性吸収のため、RBIは数回の変動金利リバース・レポ入札を実施しました。

10月の銀行預金と貸出残高の伸び率はそれぞれ前年比10.2%、6.5%の増加となりました。9月はそれぞれ9.3%、6.7%でした。

債券利回りと利回り差の変化幅

	2021年10月末	2021年9月末	変化幅
10年国債利回り	6.39%	6.22%	+0.17%
10年社債利回り***	7.03%	6.95%	+0.08%
利回り差	0.65%	0.73%	-0.08%

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

*レポ金利、**消費者物価指数（CPI）上昇率（前年同月比）、同項目のみ月次。新基準（2012年=100）による統計を使用。2021年9月分まで。

***10年社債利回りはBloomberg FIMMDA India Corporate Bond Curve AAA Year Corporateの利回りを使用。

※10年国債は、2020年5月の途中で銘柄が変更されました。

為替：インドルピーは対米ドルで下落、対円では上昇

- 10月のインドルピーは、対米ドルで1.8%の下落、対円では0.7%の上昇となりました。
- インド準備銀行は通貨安定のため外貨準備を積み増しており、過去最高水準を維持しています。

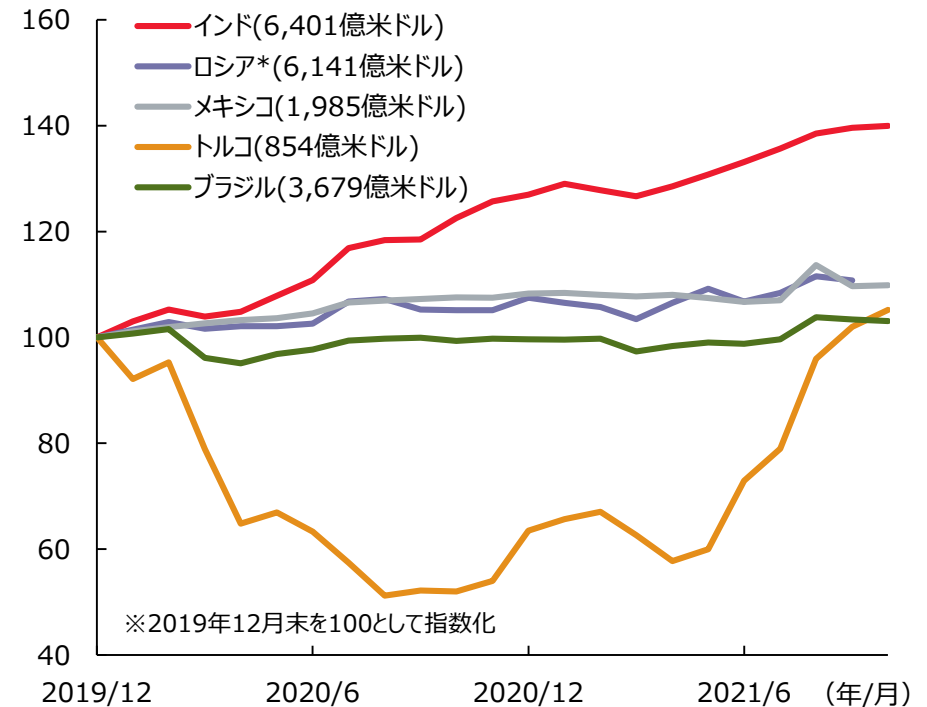
ルピー（対円、対米ドル）の推移

（日次、2019年12月末～2021年10月末）



主要新興国の外貨準備高

（米ドルベース、月次、2019年12月～2021年10月*）



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

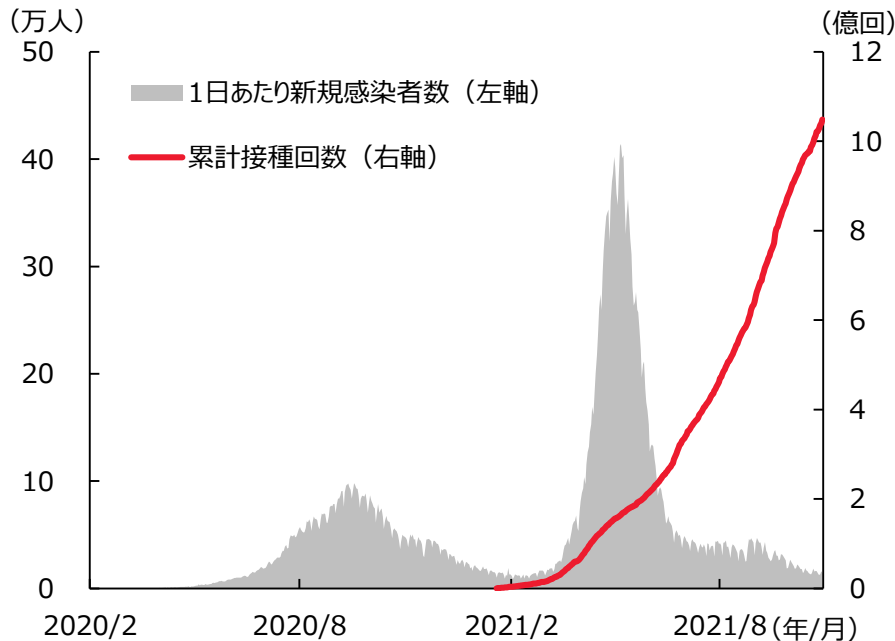
*ロシアのデータは2021年9月まで。

新型コロナウイルス感染状況の落ち着きなどから、景況感は改善傾向

- 10月末現在、新型コロナウイルスの1日当たりの新規感染者数は約1.4万人、市中での感染の広がりを見せる検査陽性率は1.2%未満まで低下しています。また、累計約10億5千万回のワクチン接種が行われており、1回以上接種した人は人口の約53%となっています。
- 企業の景況感を示すPMI（購買担当者景気指数）は、節目となる50を上回っています。10月は製造業、サービス業ともに前月から上昇し、景気の底堅さを示しています。

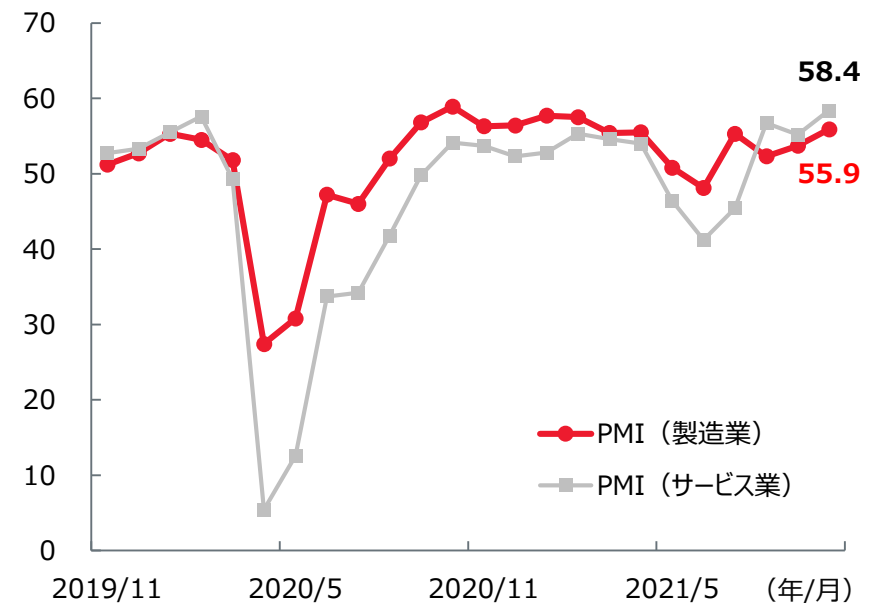
インドのコロナ新規感染者数とワクチン累計接種回数の推移

（日次、2020年2月1日～2021年10月29日）



日経インドPMI（季節調整済み）の推移

（月次、2019年11月～2021年10月）

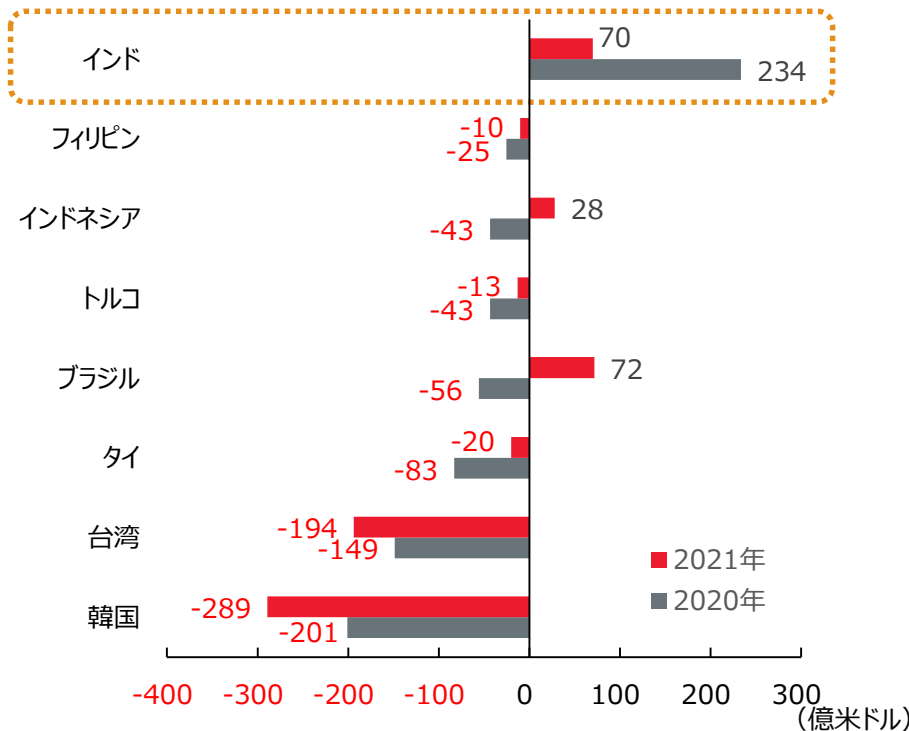


出所：CEIC、ICICIAMのデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。※インドのワクチン接種は2021年1月16日から開始。データは1月19日から。

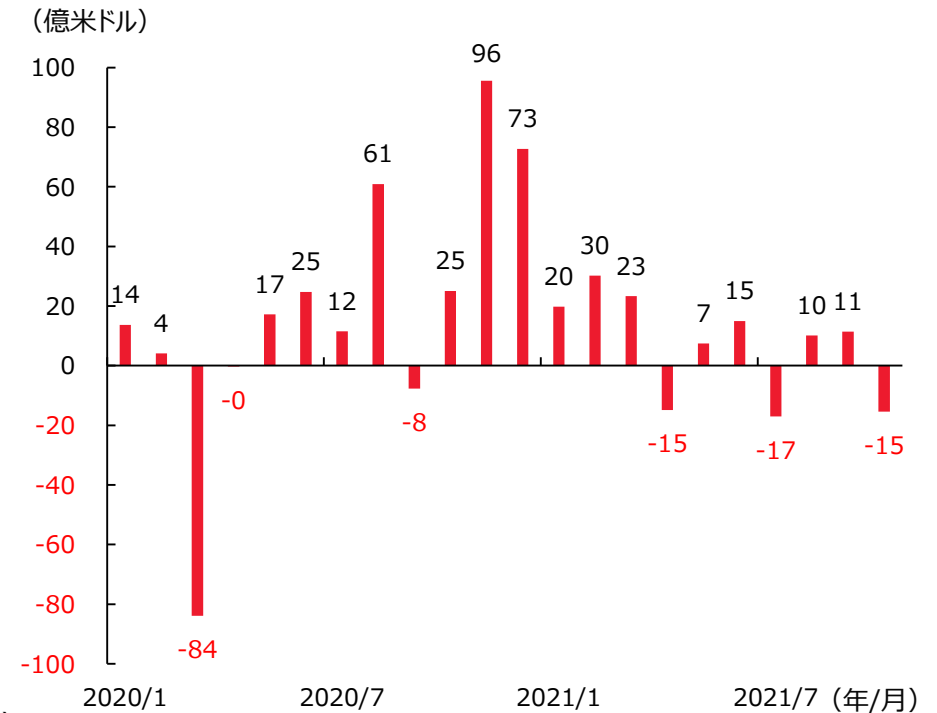
新興国における外国人投資家の資金流出入の推移

- 2020年、2021年の新興国株式市場をみると、資金流出となっている市場が多い一方、インド株式市場へは資金流入が続いています。
- 単月で見ると、10月のインド株式市場における外国人投資家の資金は流出となりました。

新興国株式市場における外国人投資家の資金流出入
(2020年、2021年*)



インド株式市場における外国人投資家の資金流出入の推移
(月次、2020年1月～2021年10月)



出所：IIF（国際金融協会）のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
*2021年は10月まで。※2020年11月以降については同協会による推計値。

【ご参考】巨大小売市場インドにセブン-イレブンが初出店

コンビニ業界において売上・店舗数共に日本No.1のセブン-イレブンが、2021年10月、インドに初出店しました。海外進出18カ国目（地域含む）となります。

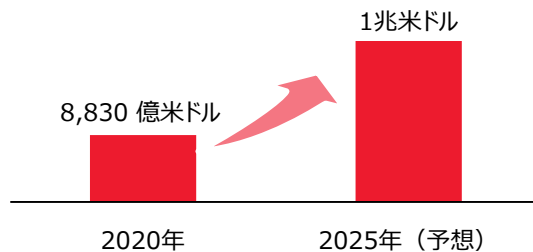
インドの小売業界

インドでは「キラナ」と呼ばれる伝統的な家族経営の零細商店が小売市場の大半を占めており、フランチャイズ化されたコンビニエンスストアやショッピングモール、Eコマース等はまだまだ少ないのが現状で、大きな成長余地を秘めています。

急成長するインドの小売市場

13億人超の人口を抱えるインドは、高い経済成長を背景に中間層が増加。現在、インドの小売市場は世界で5番目の規模となっており、2025年には1兆米ドルに達すると予想されています。外国企業の積極的な投資・進出は、今後もインドの消費の更なる活性化につながると期待されます。

インドの小売市場規模



インド、ムンバイのセブン-イレブン1号店

～店内は日本のコンビニのように様々な商品が綺麗に陳列されている～



(株式会社セブン&アイ・ホールディングスさまご提供)

7-Eleven Inc. の Joe DePinto President and CEO は「インドは世界で2番目に大きな国で、最も経済成長の早い国の1つであり、世界最大のコンビニエンスストアチェーンである当社と非常にマッチしています。Reliance Retail Ventures Limited との戦略的提携により、セブン-イレブンの利便性と象徴的な商品を、ムンバイをスタートとして何百万人ものインドのお客様にお届けすることが出来ます。」とコメントしています。

出所：IBEF、各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

当資料に関してご留意いただきたい事項

- 当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。
- 当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

※ 業種区分は、原則としてMSCI/S&P GICSに準じています。GICSに関する知的財産権は、MSCI Inc.およびS&Pにあります。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号
加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会